



まちづくりシンポジウムのご提案

次代のまちづくりプロジェクト2015

1. はじめに

シンポジウムをまちづくりを考える契機に

- 合併10周年を迎えた節目の年
- 協働のまちづくりの更なる推進

2. 内容

住民・行政双方に希望とやる気を

- 基調講演
- 事例紹介
- パネルディスカッション
- 質疑応答等

3. 登壇者候補（その1）

2040年、896の自治体が消滅する

■ 増田 寛也

日本創成会議座長

1951年東京都生まれ。77年東大法卒、建設省（現国土交通省）へ。千葉県警交通指導課長、茨城県鉄道交通課長、建設省建設業課紛争調整官などを経て95年4月、岩手県知事に初当選。2007年4月まで3期務め「改革派知事」として地方分権の旗を振る。07年8月から第1次安倍晋三内閣、福田康夫内閣で総務相。現在は日本創成会議座長のほか野村総合研究所顧問、東大大学院客員教授を務める。



3. 登壇者候補（その2）

地方に新しい仕事と人の流れをつくろう

■ 伊藤 明子

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局次長

京都大学工学部卒。1984年、建設省入省。宝塚市役所、住宅局、都市局、内閣官房都市再生本部事務局を経て2010年、国土交通省住宅局住宅総合整備課長。12年、住宅局住宅生産課長。14年より内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局次長に就任。内閣府地方創生推進室次長を併任する。



3. 登壇者候補（その3）

稼ぐまちが地方を変える

■ 木下 斉

一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス代表理事、一般社団法人公民連携事業機構理事

1982 年生まれ。1998 年早稲田大学高等学院入学、在学中の 2000 年に全国商店街合同出資会社の設立並びに社長就任。2000 年新語流行語「IT 革命」受賞。2005 年早稲田大学政治経済学部政治学科卒業、2007 年一橋大学大学院商学研究科修士課程修了。2008 年熊本城東マネジメント株式会社設立、代表取締役。現在、全国各地の事業型まちづくり会社の連携組織である一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス 代表理事。一般社団法人公民連携事業機構理事、内閣官房地域活性化伝道師なども務める。



3. 登壇者候補（その4）

日本の地域に多くの「挑戦」を創出すること

■ 中島 淳

(株)カルチャーアットフォーシーズンズ代表取締役

兵庫県出身。北海道大学農学部卒。1988年(株)リクルートに就職。1995年から民間のシンクタンクにて地域づくりに関するコンサルティングを担当。2001年コンサルティングに終わらないプロジェクト実践を目指して(株)カルチャーアットフォーシーズンズを設立し代表取締役に就任。

現在、内閣官房 地域活性化伝道師、総務省 地域力創造アドバイザー・地域再生マネージャー、事業型環境 NPO モデル実証事業アドバイザー、宮崎県綾町ユネスコエコパーク委員会 専門委員、福島県会津観光応援隊 隊長などを務める。



3. 登壇者候補（その5）

『できない』を『できる！』に変える

■ 木村 俊昭

内閣官房 地域活性化伝道師

1960年北海道生まれ。1984年に小樽市へ入庁。議会事務局、経済部商工課、産業振興課、企画政策室などを歴任。「ガラスの街・小樽」としてのブランド化に成功。2006年から内閣官房・内閣府に出向。内閣府企画官(地域活性化担当)として地域再生策の策定や調査研究などを担当。2009年より農林水産省大臣官房企画官として、地域の担い手の育成、地域ビジネスの創出、6次産業化などを手掛ける。2011年に「木村俊昭の北海道スーパー公務員塾」を開講。現在も地域活性の伝道師として、全国各地で講演・現地アドバイスを実施している。



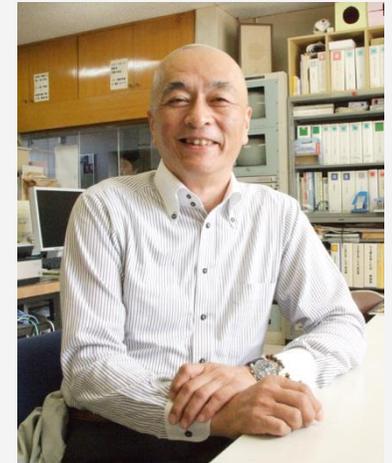
3. 登壇者候補（その6）

人の役に立つのが役人だ

■ 高野 誠鮮

羽咋市歴史民俗資料館 館長

1955 年石川県羽咋市生まれ。東京でテレビの構成作家などを経て郷里の市臨時職員になる。宇宙博物館「コスモアイル羽咋」で注目され、神子原地区の限界集落“脱却に成功し、「スーパー公務員」と呼ばれる。自然栽培米の実践にも着手。2012 年 11 月には「カンブリア宮殿」出演。金沢大学大学院講師歴任。日蓮宗妙法寺第 41 世住職でもある。著書『ローマ法王に米を食べさせた男 過疎の村を救ったスーパー公務員は何をしたか？』（講談社）等。2015 年著作がドラマ化される（TBS テレビ日曜劇場『ナポレオンの村』）



3. コーディネーター候補

あなたが動けば、町は変わる！

■ 足立 基浩

和歌山大学経済学部 部長

1968 年東京生まれ。1992 年 慶應義塾大学経済学部卒業後、朝日新聞社記者を経て、2001 年ケンブリッジ大学大学院土地経済学研究科にて博士号を取得。現在、和歌山大学経済学部長（2015 年 4 月より）。新宮市都市計画マスタープラン策定委員会委員長（2010 年 8 月）。「シャッター通り再生論」、「まちづくり論」、「イギリスのまちづくりと都市再生」、「都市活性化論」などを専門分野とし、和歌山市において商店街活性化のため、ゼミの学生や市民とともに「オープンカフェ事業」や「レンタルカフェ事業」などを展開している。



4. その後の展開

一過性のイベントで終わらない

- 地域コーディネーターの養成
- 全国地域リーダー養成塾の活用
- まちづくりワークショップの開催